

支配株主等に関する事項について

2022年10月25日

株式会社 東京証券取引所
代表取締役社長 山道 裕己 殿

会社名 ウェルブレイド・ライゼスト株式会社
代表者の役職氏名 代表取締役 谷田 優也



当社の親会社である株式会社カヤックについて、支配株主等に関する事項は、以下のとおりです。

1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）、その他の関係会社又はその他の関係会社の親会社の商号等
(2022年10月25日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている 金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
(株)カヤック	親会社	62.40	0.00	62.40	・株式会社東京証券取引所 グロース市場

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称及びその理由
名称：株式会社カヤック
理由：株式会社カヤックは、当社の親会社であるため。
3. 非上場の親会社等に関する決算情報の開示の免除の理由
該当事項はありません。
4. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社等との関係
当社は、親会社グループにおいて、コンテンツ事業の中の e スポーツユニットに区分されておりますが、同社グループ内において、当社の主な事業内容と同事業を展開しているグループ企業はなく、グループ内における競合は生じておりません。
5. 支配株主等との取引に関する事項
親会社グループとの間で、大会出場者の利便性や大会運営の効率化と品質担保の観点から、クライアント等との協議のもと、同社のトーナメントプラットフォーム「Tonamel」を利用する場合があります。また、頻度は高くありませんが、同社のクライアントに対して e スポーツイベントの提供も行っております。
今後も事業上の取引は継続していく方針ですが、経済条件については独立第三者間取引と同様の一般的な取引条件にて実施してまいります。
6. 支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況
当社では、関連当事者取引を行う際には、取締役会決議を必要としております。また、管理部門における取引開始時の確認や、監査役監査や内部監査における事後確認を行うことで、同社との取引における健全性および適正性確保の仕組みを整備しております。
なお、親会社グループとの取引については、事業上の必要性及び他社との取引条件等を比較しその妥当性の検証を行なった上で取引を行う方針であります。

以上